

赤十字について



日本赤十字社茨城県支部

赤十字って何？

1. 民間の団体です
2. 世界的な組織です
3. ボランティアの団体です
4. 財源を支えているのは国民です。
5. 人の命と尊厳を守ることを目的とした団体です

【赤十字社の誕生】



アンリー・デュナン
(スイス人)

イタリアとフランスの戦争に遭遇し、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない人間同士として、敵味方なくその尊い生命は救わなければならぬ」と考えた。

1859年

ソルフェリーノの戦い

1862年

「ソルフェリーノの思い出」
を出版

①そのための**救護団体を平時から
各国に組織**する

1863年

五人委員会 結成
(後の赤十字国際委員会)

②この目的のために**国際的な条約を
締結**しておく

1864年

ジュネーブ条約

【日本赤十字社の誕生】

1877年 西南戦争が起こる

さの つねたみ おぎゅう ゆづる

佐野常民 と 大給恒 が戦場
で敵・味方のわけへだてない
救護を行う赤十字と同じ組織
を日本にも作れないか考える。



佐野 常民



大給 恒

1877年「博愛社」を設立

1887年「日本赤十字社」に改称

1888年 日本赤十字社茨城県支部を創設

【赤十字マーク】

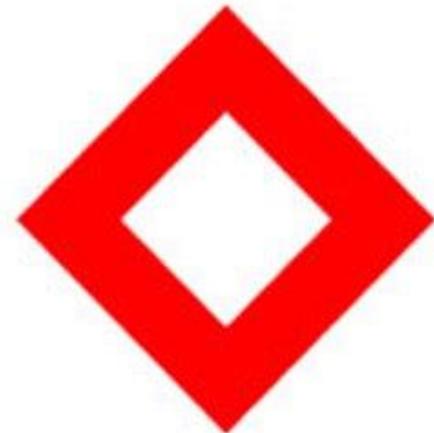
赤十字マークは、赤十字創設者 アンリー・デュナンの出身国スイスの国旗の配色を反転させたもの。イスラム教国では、十字がキリスト教を連想させるため、代わりに三日月を使用している。



赤十字



赤新月



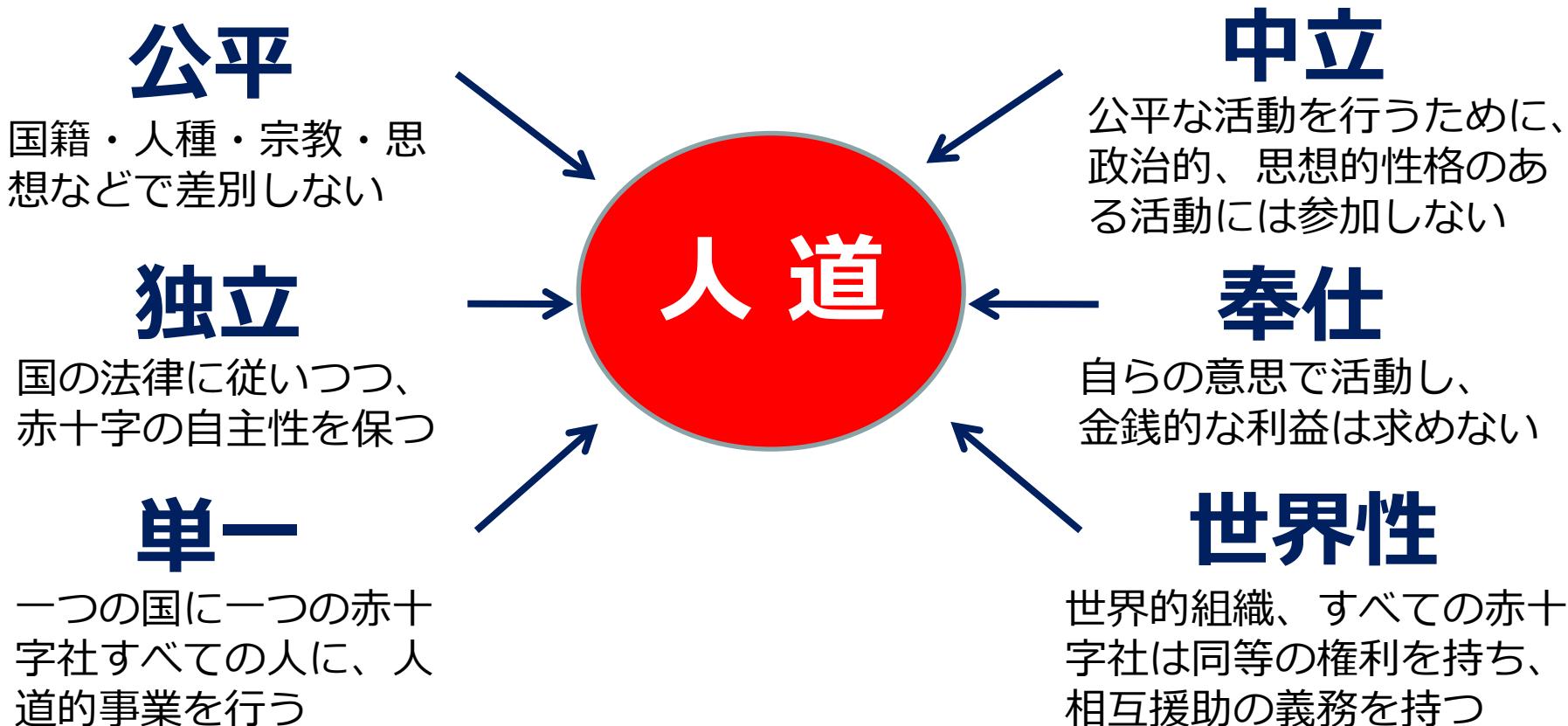
レッドクリスタル
2005年制定。他マークと同じ効力を持つ。

平時には、赤十字社を「表示」するマーク

戦時には、攻撃をしてはならない「保護」のマーク

【赤十字の7つの基本原則】

1965年の赤十字国際会議で「赤十字基本原則」が決議され、宣言されました。「人間の生命は尊重されなければならない、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない」という**「人道」**こそが赤十字の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものです。

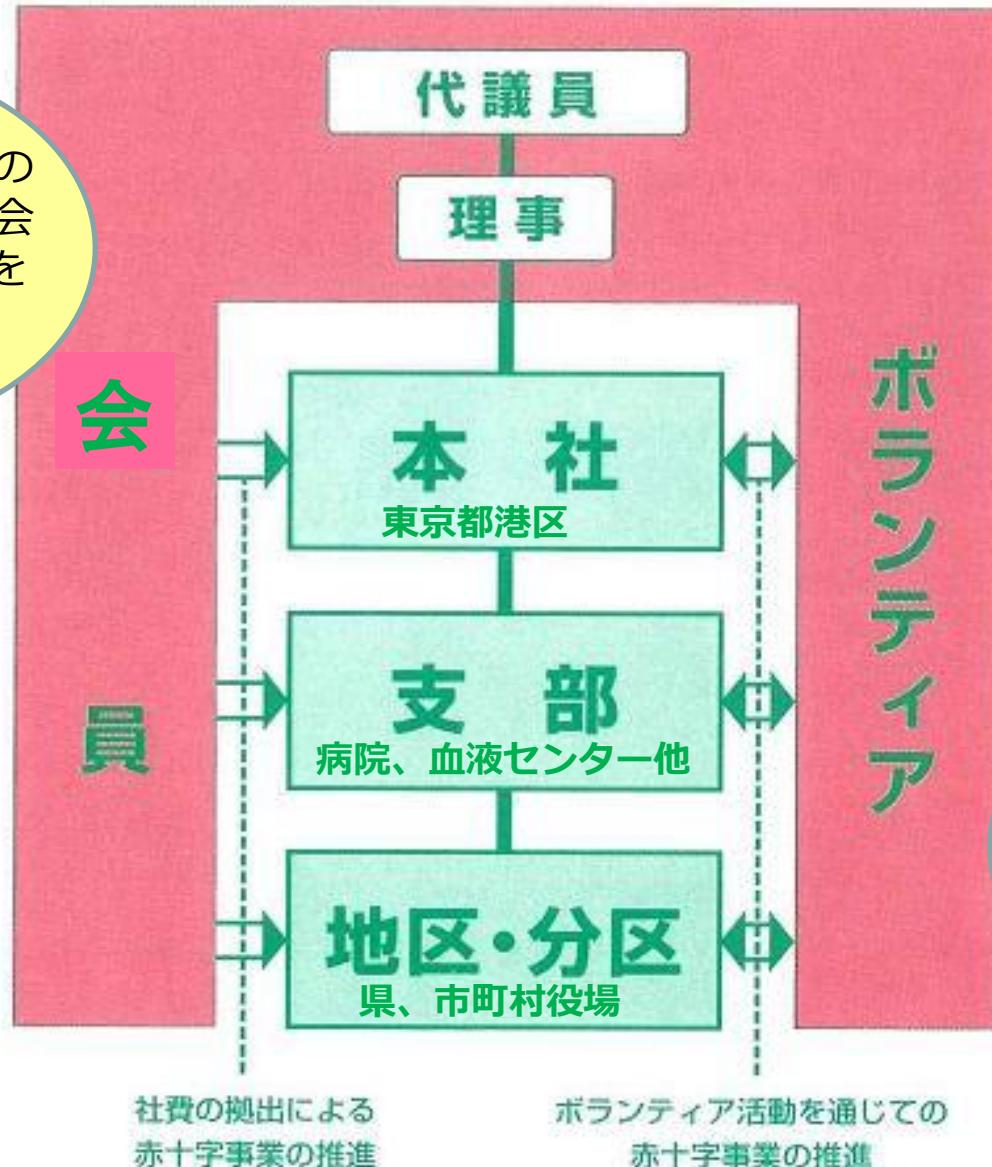


【日本赤十字社の組織】

■日本赤十字社のしくみ 「日本赤十字社法」で、目的や業務が定められている

赤十字の精神や事業の目的を理解し、毎年会費（2,000円以上）を納めていただく方

会員
個人 約15.6万人
法人 約8.2万法人



ボランティア
約2900団
約122万人

赤十字事業を支え、
さらに地域の人道的なニーズに応える活動を行う方

日本赤十字社の主な事業

- 1. 災害救護活動
- 2. 国際活動
- 3. 医療事業
- 4. 看護師等の養成
- 5. 血液事業
- 6. 救急法等の講習
- 7. 青少年赤十字活動
- 8. 赤十字ボランティア活動
- 9. 社会福祉事業

【災害救護活動】

■ 救護活動 自然災害（地震、火災、風水害）

感染症流行時の患者救護

航空機遭難、列車事故、ガス爆発など



日本赤十字社は災害対策基本法により「指定公共機関」として位置づけられ、災害救助法により国及び都道府県に対する救助への協力義務が規定されている

- ① 医療救護・こころのケア
- ② 救援物資の配布
- ③ 血液供給
- ④ 義援金の受付と配分
- ⑤ その他災害救護に必要な業務



救護物資の搬出（支部から被災地へ）

【災害救護活動】



令和元年台風第19号 救護所診療（大子町）

医療チームの構成

医師

看護師

薬剤師 ※助産師

主事（事務）

県内の日赤医療チーム

水戸赤十字病院 6個班

古河赤十字病院 3個班



令和元年台風第19号 こころのケア（常陸太田市）

【国際活動】

長期にわたる人道ニーズへの取り組み



自然災害対策事業

政府の力が十分でない開発途上国で災害や疾病などに苦しむ人々の状況改善



日赤要員による手洗いデモ (c)JRCS

【 医療事業 】

■全国91の病院を設置し、地域における診療活動を行っています。
茨城県内には、水戸市と古河市に赤十字病院を設置しています。



水戸赤十字病院



古河赤十字病院

開設年月日 大正12年6月14日
病床数 442床

* 基幹災害拠点病院

開設年月日 昭和28年11月1日
病床数 200床

* 地域災害拠点病院

【看護師等の養成】



- 1890年(M23) 救護看護師養成開始
戦時救護を目的
- 1891年 濃尾大地震（岐阜県）で救護看護師が活躍、大きな成果
災害救護も目的に追加

• 看護大学の設置

• 救護看護師の養成

国内外の災害救護活動で活躍できる人材の養成



【 血液事業 】

- ・全国に献血ルームや血液センターなどを設置し、献血者の安定的確保や血液製剤の安定供給確保に努めている。
- ・特に、血小板成分献血及び400mL献血の推進に努めている。体験学習、参加型イベントの開催等、若年層献血者確保のための取り組みを行っている。
- ・茨城県内には水戸とつくばに献血ルームがある。



つくば献血ルーム



献血バス

【 救急法等の講習 】

■ 意義

「苦しんでいる人を救いたいという思いを集結し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」
= **人道**を具体化した事業



■ 茨城県内の受講者数と開催数（令和元年度）

- ・ 救急法 11,386人 (313回)
- ・ 水上安全法 1,244人 (41回)
- ・ 健康生活支援講習 756人 (32回)
- ・ 幼児安全法 1,723人 (67回)



指導員の資格を取得したボランティアの協力で行われてます。

【 救急法等の講習 】

■ 救急法

AEDの使い方、病気やケガの手当



■ 健康生活支援講習

自立を目指した介護の方法



■ 水上安全法

水の事故からいのちを守る方法



■ 幼児安全法

こどもを事故から守る方法



【青少年赤十字 活動】

■ 目的

未来を担う児童・生徒たちが赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活で望ましい人格と精神を自らつくりあげること。



「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」という3つの実践目標を掲げて、各学校の実情に合わせた活動をしている。



リーダーシップ・トレーニング・センター



海外メンバーとの交流

【赤十字ボランティア活動】

■赤十字ボランティアとは

赤十字を行動によって支える人々（赤十字奉仕団員、青少年赤十字指導者、防災ボランティア、寄付者など）の総称

■赤十字奉仕団とは

赤十字の人道的活動を実践しようとする人々が集まり、赤十字事業の推進をはじめ、地域ニーズに応じた社会福祉活動に幅広く参加・協力するボランティア組織

災害時には、防災ボランティアとして、炊き出し等の活動を行う



赤十字仕事体験受付（地域奉仕団）



茨城県内の赤十字ボランティア

地域赤十字奉仕団

市町村ごとに組織され、地域ニーズに応じた様々な社会福祉活動を行う。

特殊奉仕団

看護師の資格や語学など専門的な知識と技術を活かした活動を行う。

青年奉仕団

大学生や社会人で組織され、献血推進や福祉施設訪問など、様々な活動を行う。

防災ボランティア

災害時のボランティア支援・調整を行う。

【社会福祉事業】

■赤十字の社会福祉事業

- ・乳児院、保育所、特別養護老人ホーム、障がい者福祉施設などの施設運営
- ・施設を拠点とした地域住民への支援事業や赤十字奉仕団などのボランティア活動による地域福祉活動
- ・茨城県支部の隣に乳児院があり、奉仕団が活動しています。



乳児院で食事の介助をする奉仕団員



乳児院の除草作業をする奉仕団員

改めて、

日本赤十字社は・・・

「日本赤十字社法」という法律に基づき設立された、民間の団体で、1877年に設立された「博愛社」を前身とし、1887年に「日本赤十字社」と改称。茨城県支部は1888年に創設。

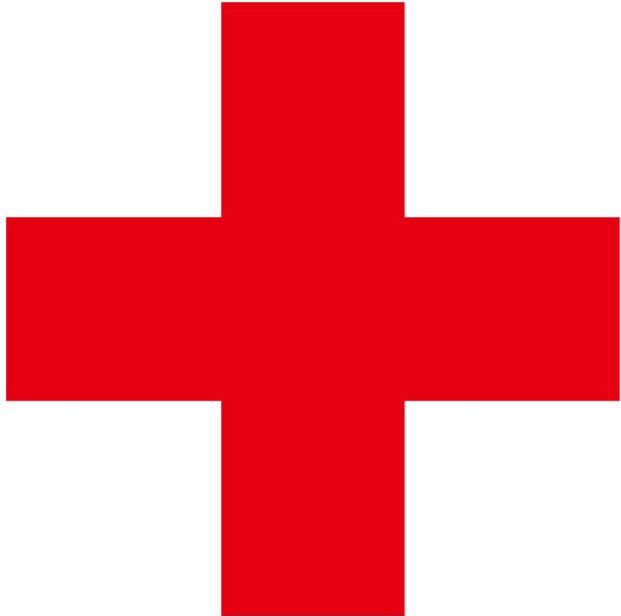
赤十字の活動は、国民からお寄せいただく活動資金（ご寄付）を財源とし、赤十字職員の働きだけでなく、多くのボランティアによる活動によって支えられています。

赤十字クイズ



<https://forms.office.com/r/TV82JmWqc6>

最後に赤十字について、クイズで振り返りましょう。
スマートフォンでQRコードを読み取って、お答えください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society